

市民政党

草の根

<http://kusanone-iwakuni.net/> 第27号 2021年10月

発行 市民政党「草の根」

代表 井原勝介

住所 〒740-0017

山口県岩国市今津町

4-11-20

コーポ舛本 1階

電話 0827-21-9808

求む! 市議会議員候補

令和4年10月予定の
岩国市議選の候補者を公募します。

応募条件

- * 25~60歳の方で
- * 「草の根」の理念に賛同し意欲のある人

応募方法

応募締切り 令和3年12月末
「応募申込書」に必要事項記入し提出

候補者の選考

候補者選考委員会にて
書類選考及び面接により
令和4年2月を目途に選考
候補者は1~2名を目途

候補者に対する支援

選挙活動等に対して
人的、経済的支援を行う

詳細は「草の根」ホームページに掲載
<https://kusanone-iwakuni.net/>
(TEL 0827-21-9808)

なうすをなる明確にあり方の政大一つも示念する提理念をきつも示す

現実は、程遠い。嘘や偽り、ごまかしは聞き飽きた、情報隠しもいい加減にして欲しいお金の話もんざり・・・周りを見渡せば、昔聞いた名前の政治屋ばかり。が安らぐことか。



最近、正な政治のために公

一つの政党が政権を担うこと。市民全体のためには、正な政治

一つの政党が政権を担うという異常な状態が続いている。今回も、前首相のコロナ対策の失敗やお金めぐる不祥事の連続などもあり、与党への信頼が低下しており、漫然と待っている余裕はない。

想ふこと

代表 井原勝介

勢力を作る必要がある。すもない。それが歴史の真実である。しかし、このまま放置すれば、安全保障一つとっても、再び危険な道に踏み込もうとしているか見える。優先するのではなく、あくまで一人ひとりの個人の権利と権力は必ず離脱する。自浄作用もなく、国民の心も離れていく。未来永劫続くは

本的な理念として、従来の企業、団体の利を

憲法の平和主義や原発の廃止などは当然の前提となる。

戦略

戦略として、企業や団体などの縦割ではなく、発想を根本的に変えて、年齢も職業も、地域も異なる一人ひとりを、基本的的理念を軸にして私たちの意思で、墮落した政治を取り替えることができる。そのためには、目先の選挙目

の独裁国家はともかくとして、私たちの意思で、墮落した政治を取り替えることができる。そのためには、目先の選挙目

第9回すがこと話そう

日時 10月23日(土)
13時30分から

場所 岩国市民文化会館
第4研修室

千人十万人百万人に・・・野党協力ではなく、長期的な視点的単なる

横につなげる必要がある。SNSなどの通信手段の飛躍的発達により、時間と空間の壁がなくなりつつあり、そこに大きな可能性が広がる。

主義が生まれる。

北河内瓦谷地区の

安心・安全のための活動報告

熱海市で大規模な土石流災害が発生し、被害を大きくした原因は「盛り土」ではなくいかと言われていることは記憶に新しいところです。



写真は残土場 寄稿の末広さん提供

岩国市北河内の瓦谷地区でも1きょ奥に入った採石場跡地に、隣県から残土を持ち込み盛り土が行われています。この場所は過去に採石が崩落し瓦谷川を埋めたことがあります、その後に木材

チップや産廃物を持ち込み、火災を引き起こした場所でもあります。

2年前から残土を持ち込み始め悶々と暮らしながら、4月に住民との対話を集会が美川町で開かれることを知り、悩みを訴える途な思いから参加したのが「草の根」との出会いでした。

頂く為に、二度に渡り新聞記事にも取り上げて頂きました。

1400名の署名を携え 残土・盛り土を規制する活動

寄 稿 瓦谷自治会 副会長 末広 邦夫

それから現在に至るまでに、「草の根」の議員さんからアドバイスを頂き、瓦谷自治会での活動のアドバイスを頂き、北河内連合自治会長も巻き込んで北河内地区全域と、「草の根」の議員さんの協力も得て、半月で千四百名分もの署名を集めることができました。「草の根」会員の皆様にも署名活動にご

協力頂いたことを、「この場をお借りしてお礼申し上げます。先月、山口県に「盛り土を規制する条例の制定」を規制する条例の制定」を規制する条例が無い」といふ理由から、業者の指導・監督は出来ないとの回答でした。

書を提出致しました。その際にも「草の根」の県議・市議さんにも同席して頂きました。また、NHKテレビ局や新聞社にも声を掛け報道もして頂きました。瓦谷で起きた小さな波が、県が盛り土を規制する条例の制定に至ったならば、県内で同様の悩みを持つ中山地域の方々の手助けになるものだと思います。

しかしながら、それは規制条例という手段が出来たときに、「草の根」の対話集会が瓦谷地区でも開催され、そこには、行い話を聞き詰まりをみせた頃に、「草の根」の対話集会が瓦谷地区でも開催されました。9月13日、草の根として、山口県と岩国市に対話し、「瓦谷を含む幅広い実態調査を行うこと、土砂埋め立てに関する条例を制定すること」の緊急要請書を提出しました。これに対し、「他県と同じように総合的に規制する条例が必要」との回答を得た。

最後になりますが、「草の根」と出会ってから6ヶ月という短期間で、県に条例制定を嘆願するまでに至ることができましたのは、ひとえに市民に寄り添う「井原すがこ県議」と「広中英明市議」のおかげと感謝致します。



写真：山口県への要請

盛り土規制条例制定の緊急要請

9月13日、草の根として、山口県と岩国市に対話し、「瓦谷を含む幅広い実態調査を行うこと、土砂埋め立てに関する条例を制定すること」の緊急要請書を提出しました。これに対し、「他県と同じように総合的に規制する条例が必要」との回答を得た。

短命の菅政権が終わり、岸田新内閣が誕生しました。モリカケ問題や桜を見る会の検証から逃れるように、健康問題を理由に辞職した安倍前総理

にも辟易していましたが、菅氏はもっと酷かったです。頼りなく一国の首相としては本当に貧弱すぎました。これから岸田首相の手腕と真価が問われます。

一方、ここ山口県では、総選挙や参議院の補欠選挙に向けて、県議会議員たちはざわざわしているようです。山口3区では、大物自民党議員同士の戦いに注目が集まっています。

県民として、立候補者をきちんと見分ける目を持ち、投票に臨む覚悟を求められる今、しっかりと見極めなくてなりません。

候補者をしっかり見極めて

県議 井原すがこ

ません。

9月県議会では、コロナ対策の補正予算等が上程され、中

小企業や個人事業主への支援金などが可決されました。10月からは、全国的に緊急事態やまん延防止が解除されました。

今度こそぶり返しのない平穡な日常生活が送れるようになることを望みます。

支援者と議員控室での懇談風景



草の根議員のレポート

今年になって私は、今年になつて私の處に大きな相談が入つてきました。

1件目は藤河小学校付近の県道沿いに、大量の使用済みの家電や自転車が積みあげられ危険な状態になつてゐる。景觀も悪くなつて困っている。不法投棄も発生して困つて相談でした。

地域の困窮問題2件
解決に全力で対応す
市議 広中英明

2件目は、北河内瓦谷地区の川の上流部にある、元採石場跡地に大量の残土が運び込まれた。集中豪雨になれば土

関係者にお願いをするしかないと苦しい答弁でした。



務省は「莫大な資料を点検したが、現時点で岩国への持ち込みについて確認できなかつた」と公表、釈然としない幕切れとなつた。

今、20年間のアフ

米軍岩国基地の重要性は更に高まり、基地機能強化は今以上加速化し、有事に米軍の都合で核が持ちこまれるのではないかと危惧している。

言うまでもなく、非核三原則は「使えず」は法的拘束力がない為、米国に対しひり IPPを利かす事が出来ない課題が残っている。「使えない核」から「使える核」の開発は進んでいます。

非核三原則は国是・
平和外交強く求める 市議 重岡邦昭

平成22年3月、核の密約が判明、「1963年に岩国基地へ核兵器を一時保管していた」との記述もあり、一時、岩国市が騒然となる事がある。

ガン戦争も終わり、米軍は5年以内の台湾有事を睨み、戦力を東アジアにシフトする考えを持っている。

しかし、三原則の二つ「持ち込ませず」は法的拘束力がない為、米国に対しひり IPPを利かす事が出来ない課題が残っている。「使えない核」から「使える核」の開発は進んでいます。

則は国是であり、義務教育の中で多くの国民に浸透している。安心・安全な生活を保障する為には、早期の法制化と積極的な平和外交が求められる。

うよこっと



「憲法53条：衆参両院い
ずれかの総議員4分の1以
上の要求があ
れば、内閣は
臨時国会を召
集しなければ
ならない」

これに基づき野党は7月、
コロナ対策のための臨時国
会召集を求めたが、政府は
これに応じず。
同じように、2017年

国会召集要求



よりそれが果たされないとい
ふれれば、明確な憲法違
反である。反対してその義
務であり、政治情勢云々に
要件を満たして争わ
れている。

にも、モリカケ問題の審議
のための臨時国会の召集要
求が出されたが政府は拒否。
この件は、現在裁判で争わ
れている。要件を満たして
いれば国会召集は内閣の義
務であり、政治情勢云々に
相自らが表明された言葉。そ
して「明るい日本の未来を目指
して努力をする覚悟」と続く
悟」と続く▲ここで誰の話を聞かれるかという
ことを質しておきたい。総裁
選挙でどの候補からも「国民」という言葉をいやとうほど
聞かされた。そこで聞くのは
国民の声だと勝手に思つて期
待している▲これまでには政府

草の根コラム

「岸田文雄の特技は人の話をしっかりと聞くことであります」。これは新首相自らが表明された言葉。そして「明るい日本の未来を目指して努力をする覚悟」と説明を求める国民の声を無視した延長にある▲こうして発生する政治への懐疑は国民の声を聞き、それに応えれば首相の言われる「明るい日本の未来」の出発点になる。なんら難しいことははない。平和都市広島出身に期待する。

草の根ネット案内



**市民政党
草の根 事務局**

党費の納入について

「草の根」の活動は、みなさまのご支援により支えられています。

今年度（1月～12月）の党費の納入は、以下の要領でご協力よろしくお願ひいたします。

- ①お届けした振込み用紙で
- ②地域のお世話人へ
- ③直接事務所へ

党費 党 員 1千円
特別党員 1万円

草の根事務所へご一報いただければこちらから出かけてまいります。

事務所開所時間の変更

草の根事務所の開所時間を次のように変更いたします。急用等の場合は別途対応しますので、よろしくお願ひ致します。

午前： 9時30分～12時

午後： 2時～4時30分

休日： 土、日、祭日、盆、年末年始

近くにお越しの際はお立寄りください。

かつすけウラ話

人間ルンバ



「うちには人間ルンバがいるから、お掃除ロボットを買わなくともよかつたね」と言いました。私は、ルンバが、ある日、椅子に座つてテレビを見ている主人の足元拭いていた。が、ある日、椅子に座つてテレビを見ている主人の足元拭いていた。

(すがこ記)